



いろはにほへと

いまえよりと
今江祥智

どっかい
読解

たなかやすなり
田中保成

Ver.1

D 4

問題1 この物語は、いつのことですか。

- ① むかしむかし
- ② むかし
- ③ すこしむかし
- ④ いま

指導ポイント

物語の時代背景をまず把握させておかなければなりません。

D 5

問題2 ー だって、いろはにほへとをおぼえてたところなんだよう。

いっしょうけんめい、おぼえながらあるいていたんだい。

さむらいは、() (みたいに、はっはっはっ、とわらっていました。

() の中に入るのはどれでしょう。

- ① 感心した
- ② ひょうしめけした
- ③ びっくりした
- ④ あっけにとられた

指導ポイント

「) (みたいに」というところだけに意識して、言葉のつながりだけで考える子がいます。

ここでは、さむらいが、はっはっはっと笑っていることがかりとなっています。

つまり、予想していた程度より大したことがなかったとき、笑いができるのであって、感心したり、驚いたときは、その時点で反射的に笑いがこみあげてくるものではありません。

D 6

問題3 さむらいは、あわててうまにおじぎをしてしまったことが () ()、したうちをしました。

- ① かなしくて
- ② おかしくて
- ③ くさくさ
- ④ 苦しくて

指導ポイント

気持ちは表情や態度に現れるものです。

さむらいが、したうちをしているので、「くさくさ」ということになります。

悲しいときは泣きます。おかしいときは笑います。苦しいときは顔をゆがめます。このような気持ちと態度の相関関係を言葉の上でも関連づけられるようにさせてやらなくてはなりません。

D 8

問題4 ごかうは、八木五平が () () そんなことをいったもの、とおもいましたが、

いろはにほへとのせいとは、おもしろいぞ……。

() の中に入るのはどれでしょう。

- ① てれかくし
- ② いいわけに
- ③ ごまかして
- ④ しらばっくれて

指導ポイント

「てれかくし」は、人前で気恥ずかしい思いをしたとき、人の注意をそらすためにとりつくろいことです。

「いいわけ」は、自分の立場を正当化するために、筋道を立てて説明することです。

「ごまかす」は、だまして、目なきや表面をとりつくろいことです。

「しらばっくれる」は、わざと知らないふりをすることです。

「ここで、八木五平は正直にぶっかった理由を言っているのですが、かろつは、馬にぶっかって恥ずかしい思いをしているので、本当の理由ではなく、その理由が連想できないようなとんでもない理由を言っていると思っています。」

D 9

問題 5 — へっつ……。

と、わらってしまいました。そのわらいこえがおちらぬうちに、

— あっはっはっは……。

() () わらいするものがいます。

() () の中にはいるのはどれでしょう。

- ① ふくみ
- ② ふく
- ③ たか
- ④ にが

指導ポイント

「ふくみむつこ」は、口をとじ、声を出さずに笑うことです。

「ふくわらい」は、おたふくの顔の輪郭だけ描かれている紙の上に、眉・目・鼻・口・耳などを作った紙片を、目隠しをして置いていく遊びです。

「たかわらい」は、大きな声でおどろくことです。

「にがわらい」は、にがにがしく思いながら、しかたなく笑うことです。

D 10

問題 6 こころうは、すっかり忘れてしまって、かえるみたいにかしこまりながら、口の中で、

「うはにはへとのせごさいごまするわ」

と、

() () の中に入るのはどれでしょう。

- ① うぶぶぶぶ
- ② ぶぶぶぶぶ
- ③ ぶぶぶ
- ④ わめき

指導ポイント

「うぶぶぶぶ」は、小さな声でひとりごとをいぶことです。

「ぶぶぶぶぶ」は、小さな声で話すことです。

「わめく」は、大声で叫ぶことです。

「かろつは、いさはにへっつとせいで恥をかいたと思っているのですから」「はやくとへっつになります。」

D 12

問題 7 となりのくにのさむらいは、なぜ、ゆっくりと、ていねいに、せつめいできたのですか。

- ① せつめいのれんしゅうをよくしていたから。
- ② きのつよいさむらいだったから。
- ③ ゆうしゅうなきむらいだったから。

④ おこのさまが、にっこりしていたから。

指導ポイント

「あんしんしたせいか」といって、これが原因だと推測されることを示しています。

そして、そのあんしんの原因は何かといえは、おこのさまがにっこりしていたということですね。

ですから、さむらいが、ゆっくりと、ていねいにせつめいできたのは、おこのさまがにっこりしていたからだとこのことがわかります。

p 13

問題 8 となりのさむらいは、おこのさまを待つとき、どんな顔をしていたのですか。

- ① のほほんとしたかお
- ② えびす顔
- ③ 赤ら顔
- ④ 渋い顔

指導ポイント

のほほんとした顔というのは、容姿の視点からの表現であって、表情を表したものではありません。

「えびす顔」は、えびすさんのように「にっこり」した表情。

「赤ら顔」は、赤みをおびた顔のことで表情を表したものではありません。

「渋い顔」は、不平不満があるときのにがりきった表情。

となりのくにのさむらいは、このさまにあうまでは、前の年にはさむらいのきりあいまでであったので、不平不満があったので「渋い顔」の表情になっていたのです。

p 14

問題 9 となりのくにどのいくさがさけられたのはなぜですか。

- ① かつちゃんがいるはにはへとといったから。
- ② 八木五平がいるはにはへとといったから。
- ③ かるうがいるはにはへとといったから。
- ④ となりのくにと水について話し合いがうまくいったから。

指導ポイント

原因から結果が生じ、その結果が新たな原因となりその次の結果を生み出すというように、物事は原因と結果の連鎖の中にあります。

ですから、いくさがさけられた原因を追求すればどこまでもさかのぼることができます。印象深い原因を主原因とする視点もあると思いますが、一般的には直接原因を主原因とする視点がよいと思われれます。

ですから、いくさがさけられた直接の原因は水に関する話し合いがうまくいったということになるのです。

p 16

問題 10 おくがたのほうは、いくさがさけられたので、ほっとしました。そして、これも、もとはといえば、いろはにはへとのせいだとおもうと、いろはにはへとが、ありがたく、いろはにはへと、いろはにはへと、いろはにはへととくりかして、

- () () と、口をおさえてわらいました。
- () () に入るのはどれでしょう。
- ① はっはっは……
- ② へっへっへ……
- ③ ほっほっほ……
- ④ ふっふっふ……

指導ポイント

口をおさえて、ゆっくりわらう擬音として「はっほっほ……」「が使われます。

「はっはっは……」「は、大笑いするときの擬音です。」

「へっへっへ……」は、ちょっと下品なわらいを表す擬音です。
「ふっふっふ……」は、含み笑いの擬音です。

p17

問題11 おひめさまは、たつぷりとふでにすみをふくませて、いろはにほへとど、かきました。おひめさまはまだ四才でしたから、だいぶへんてこりんないろはにはへとになりました。けれども、おくがたには、こなにうつくしいもじがないようにおもえました。

なぜ、おくがたはうつくしいもじだと思えたのですか。

- ① おひめさまが四才でかわいらしかったから。
- ② どのさまが、じょうきげんだっだのでじぶんもうれしくなったから。
- ③ ゆうぐれがしずかにおしろをつつんでくれたから。
- ④ **いろはにほへとによって、いくさびがけられたから。**

指導ポイント

文字自体はへんてこりんな文字ですから、客観的に評価すれば美しいとはいえません。

しかし、主観的に思いを込めて評価すると美しいということになったのです。

この物語は、いくさがこころの余裕によってさけられたということをテーマにしています。その余裕がわからずから、その笑いを生み出したいろはにほへとは美しく思えたのです。



ポレポレ

にしむらこ
西村まり子
どっかい
読解
たなかやすなり
田中保成

Ver.1

p 18

問題1 この物語は、だれの視点で書かれていますか。

- ① ビーター
- ② 小松先生
- ③ 田代友樹
- ④ 作者

指導ポイント

友だちのビーターが、けがをして入院しているので、ぼくは毎日のように、病院へ行っている。という地の文から判断すると、「ぼく」の視点で書かれていることがわかります。そして、ぼくは田代友樹です。とっているのですから、「ぼく」の視点は、すなわち、「田代友樹」の視点といふこともできるのです。

p 19

問題2 スワヒリ語の「ジャンボ」は、何という意味ですか。

- ① おはようございます
- ② こんにちは
- ③ さようなら
- ④ ありがとう

指導ポイント

外国語には多くの言語があることを覚えておくことも必要です。

D 20

問題3 つぎのうちビーターの性格でないのはどれでしょう。

- ① 明るい
- ② 元気がよい
- ③ 気さく
- ④ 内気

指導ポイント

陽気な性格の人は「明るく」「元気がよく」「気さく」といふことができます。「内気」は、気が弱く、人前では、はきはきしない性格です。

ビーターは陽気な性格ですから、「内気」といふことにはなりません。

D 21

問題4 「ポレポレ」はどんな意味ですか。

- ① のんびり
- ② いそいで
- ③ あわてて
- ④ いきよいよく

指導ポイント

「ポレポレ」が題名になっているのですから、この意味をしっかり覚えておかなければ正しく読み解くことはできません。

D 22

問題5 首を上下にふると、どのような意味がありますか。

- ① いやだ
- ② そうだね
- ③ おかしいな
- ④ やりたくない

指導ポイント

人の仕草がどんな意味を持っているかを知っていなければ読解ができないだけでなく、日常生活においても相手の気持ちを正しくくみとることができません。

ですから、このような仕草ができれば、そのつどその意味を確認しておいてやる必要があると思います。

D 2 3

問題6 ピーターのお父さんは、今どこにいますか。

- ① 日本
- ② ナイロビ
- ③ ビクトリア湖の近く
- ④ ケニア

指導ポイント

人の仕草がどんな意味を持っているかを知っていなければ読解ができないだけでなく、日常生活においてもそれから、ピーターは、世界で三番目に大きい、ビクトリア湖の近くでくらすルオ族の話をした。ピーターの父はルオ族の出身で、村には電気もガスも水道もない。人びとはくらしの工夫をして、自然のままに生きている。

というところを読んだとき、ピーターの父は仕事の関係でケニアのナイロビから日本に来たのでピーターも転校してきたという情報を入れ換わる子がいます。

私たちの記憶には、上書き保存のような機能があるのかもしれない。ですから、集中力を欠いた読書においては、最後の情報が一番上に格納されていて呼び出すときも上の情報から思いだしているのかもしれない。四年生あたりになると、過去から現在まで順序よくならんだ物語は少なく、過去・現在・未来がどんどん入れかわるストーリー展開が多くなりますので、場面がきりかわるところでは場所と時間をこまめにチェックするように指導する必要があります。

D 2 5

問題7 「行方不明って……」

まさか誘拐ゆうかい！と、ぼくは思ったけど、口には出さなかった。

なぜ、口に出さなかったのですか。

- ① よく考えると、そんなことはないと思ったから。
- ② 誘拐したはんにん犯人はんにんがこわかったから。
- ③ 口に出すと、もっと心配になりそうだったから。
- ④ 口に出すと、お母さんが聞きつけて、大げさに言いふらしてまわるから。

指導ポイント

口に出さないで、思ったたり考えたりしても、いつでも取り消しができます。しかし、いったん口に出すとそれを実行しなければならぬ場合が多くあります。

そのことから、口に出すとより実現しやすくなるという思いをもっている人も多くいます。

ですから、友樹も口に出すと本当にそうになってしまうのではないかと心配になったので、口に出さなかったのではないかと思われまます。

D 2 6

問題8 母さんが止めたけど、ぼくは家を出た。

どこをさがしたらいいのか。()、()、ピーターをぼくとは、駅に向かって歩いた。

() () の中にながはいるでしょう。

- ① とりあえず
- ② とりみだして
- ③ とりはからって
- ④ とりませて

指導ポイント

「とりあえず」は、ほかのことはさしおいて、まず第一にという意味です。
 「とりみだして」は、心の落ち着きをなくしてという意味です。
 「とりはからって」は、物事がうまく進むように考えて処理するという意味です。
 「とりませて」は、いろいろなものを一つにまとめるという意味です。
 友樹とピーターは、「行く」から最初に連想したものが「駅」だったということですが、どこをさがしたらいいのかわからなかったのですから、まずはひらめいた「駅」へ行こうということになったと思われるので「とりあえず」ということになりませう。

D27

問題9 公園の場面から次はどの場面になりますか。

- ① 学校
- ② 駅
- ③ 展望台てんぼうだい
- ④ 病院

指導ポイント

「駅」が何度も出てくると、駅の場面があったような気がしてくるものです。
 ですから、場面がぎりかわるころには印をつけさせ、時と場所を書きこませる指導をすることも初期の段階では必要かもしれませう。

D28

問題10 「いずみ！」

ピーターがさけぶと、

「ピーター？ ピーターなのー！」

おどろきとよろこびが、いつしよになった声が返ってきた。

いずみは、何におどろき、何を喜んだのですか。

- ① ピーターが来たことに驚き、ピーターに会えたことを喜んだ。
- ② ぼくが来たことにおどろき、ぼくに会えたことを喜んだ。
- ③ ぼくとピーターが来たことに驚き、ピーターとぼくに会えたことを喜んだ。
- ④ 来た人がピーターだったことに驚き、下へおりられることを喜んだ。

指導ポイント

「ピーター？」という時点では、ピーターが来たとは確信しておりません。声から判断するとピーターかなという程度です。もちろん、ぼくが来ていることは全くわかっています。
 「ピーターなのー！」という時点では、ピーターということを確信しております。

そして、高いところがこわくて下へおりることができなかつたという一番の喜びは、下へおりることです。

D30

問題11 らせん階段かくだいを上ると、待ちかねたいずみが、ピーターに飛びついてきた。「ピーター……、こわかった、こわかった！」

いずみの顔が、みるみるうちにゆがんできた。

このときのいずみの気持ちはどれですか。

- ① おびえる
- ② 安心あんしんする